

# 政務調査研究視察 報告書

平成18年 8月 17日提出

視 察 日	平成18年7月19日（水）～7月21日（金）
視 察 先	登別市、札幌市
視 察 内 容	産業クラスター計画について
視 察 者	近藤隆志、澤 豊、中根勝美、加納吉久、野村康治、杉浦立美、柴田泉 計 7名
登別市	<p>＜登別市、産業クラスター計画について＞</p> <p>登別市 ○面積212.11km<sup>2</sup> ○人口54,337人 ○一般会計197億6400万円</p> <p>「産業クラスター計画について」登別市役所訪問</p> <p>登別市役所内で 工藤市議会議長の歓迎の挨拶があり 総務グループ東ひろみ主査の進行によって 観光経済部商工労政グループ高橋総括主幹、田辺主査より 説明をうける。</p> <p>1、計画の趣旨 市全域をひとつの観光経済圏として機能させ有機的に連携し好循環を生み出す地域再生計画である 登別市産業クラスター形成協議会を平成17年1月に設立</p> <p>2、主体 登別市</p> <p>3、おもなる計画内容 (1) 新たな観光モデルの構築 観光ニーズの変化に対応した、体験型、選択型、保養型、長期滞在型の、新しい観光モデルの構築 (2) 市全域における経済効果の享受 年間350万人の観光客を消費主体と捉え、向かい合うための仕組みの構築 (3) 生活産業、コミュニティビジネスなど新たな産業の創出 地場産業が提供するサービスを重要な観光資源と位置づけ、環境、健康、福祉、医療、文化、歴史などの分野と連携した新たな産業の創出 の3点を大きな柱として事業計画を進めている</p> <p>4、具体的な方策 (1) 観光客を地元へ引き入れる策としてプリペイドカード型電子マネーの発行 (2) 観光客向け交通サービス参入、コミュニティバス、乗り合いタクシーの許可 (3) 長期滞在型の観光モデルを提案し新しい宿泊形態の確立 この計画には市が提案し商工会議所が協力した結果このような新しい地域再生計画が実行されている。</p> <p>*具体的に想定される効果として ①クラスター統括事業の設立（雇用創出5名から10名程度） ②雇用促進機会増大促進事業の実施 ・エコツアーガイド事業の設立（雇用創出20名程度） ・人材育成による雇用創出 75名程度 今後登別市としては産、官、学、共同で 学生フォーラム等の誘致 温泉を主体とした観光税の増額を目指す 地元産の生産物のランク外の商品を利用して 地産地消を確立させる このように市長自ら提案して地域再生計画を実行している</p> <div data-bbox="1034 577 1374 817" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">▲ の施設</p> <div data-bbox="1066 1621 1406 1861" data-label="Image"> </div>
	<p>〔感想・岡崎市への反映〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域再生計画には産官学の叡知を集めて、市長自ら具体的な案を、提案して行くべきと思います。</li> <li>・その主体は、市と、商工会議所がなり、産、学の実践的なアイデアを取り入れて、それぞれの意見を尊重しながら事業を創出してゆくことが、いまの岡崎市には、必要といえる。</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・観光都市岡崎を目指すのであれば、滞在型、体験型の施設を、自然豊かな額田地域利用して学生とコミュニケーションの取れるものを構築してゆくことが急務といえるのではないか</li></ul> |
|--|--|